歴史・文化サークル便り2025.10「こんなところに行田市の歴史文化あり」第3回

THE PART OF THE PA

「中条堤」

中条堤は行田市北河原他に残存する、江戸時代から明治時代にかけて治水システムの要として機能した 堤防です。

(中条堤 説明板)

中条堤の下流、行田市酒巻と利根川の対岸千代田町に人為的に狭窄部を設け、増水時の利根川、福川の



氾濫水をこの堤により上

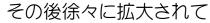
(中条堤1)

流の熊谷市と深谷市の一部を含む地域に意図的に氾濫させ、結果的に下流の洪水を軽減し、忍藩領、最下



流の江戸を水害から守りました。

築堤起源については諸説あるが、その巧妙な仕組 みから見て伊奈忠治によって本格的な整備がなされ、





いったものと考えられています。



(皇太子殿下ご視察)



(北河原用旧水元圦)

文•写真: 紺野 仁